



# 淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.02



～出前講座・現場見学会を実施しました～

## ◆出前講座・現場見学会(続報)

みなさま、あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、前回の事業だよりでご紹介いたしましたとおり、平成 23 年 11 月 24 日(木)、市立東淡路小学校の 3 年生児童(60 名)を対象に、次の内容を目的として出前講座・現場見学会を行いました。

### ○出前講座・現場見学会の目的

- ・「まちづくり」に対する関心を促し、事業の目的・効果などについての理解促進
- ・事業に対する親近感の醸成
- ・工事車両への注意喚起や踏切の正しい横断方法など安全啓発

### ○出前講座・現場見学会の実施内容

講座当日は、2 時限目～4 時限目を使って実施しました。

2 時限目には小学校の第 2 音楽室をお借りして、「大阪市のまちづくり」や「淡路駅周辺のまちづくり」などについて説明するとともに、「高架工事の概要」「踏切横断時の安全啓発」などを行いました。

3 時限目と 4 時限目には学校の外に飛び出して、実際に出来上がっている高架構造物(地上約 25m、7 階相当)の上に登ってもらいました。また、工事に使用する建設機械の運転席に座ってもらいました。

事業を身近に感じてもらったのではないかと思います。

### ○出前講座・現場見学会のアンケート

今回参加していただきました 3 年生児童 60 名を対象に、出前講座・現場見学会に関するアンケートにご協力いただいております。

アンケートの集計結果は次回にご報告する予定です。

ご期待ください。

出前講座の様子



現場見学会の様子





# 淡路駅付近連続立体交差事業だより



## ◆淡路駅付近の連続立体交差事業(連立事業)の紹介(その2)

今回は連立事業で用いられる高架化工法について説明します。

工法は、




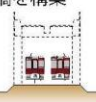
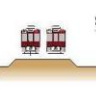
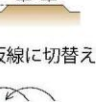
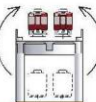
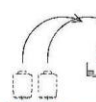




- ① 現在の線路の真上に高架構造物をつくる「直上(ちよくじょう)工法」
- ② 現在の線路の横に高架構造物をつくる「別線(べっせん)工法」
- ③ 現在の線路の横に仮の線路を設け、それにより空いたスペースに高架構造物をつくる「仮線(かりせん)工法」

の3工法に分けられます。

通常、一つの連立事業では一つの工法を選択することが多いのですが、淡路駅付近の連立事業では適材適所に組み合わせながら工事を進めていくこととしています。

いずれの工法を採用しても、現在の道路の一部を占用したり、道路を付け替えたりする必要があります。

工事現場周辺では道路の形態が変わっているところがありますので、みなさん、注意してご通行ください。

直上施工	別線施工	仮線施工
<p>現在線(または仮線)を営業しながら、その上空を防護して構造物を構築。</p> <p>京都線 宗徳寺駅～歌島豊里線付近 千里線 新幹線 交差部付近・他</p>	<p>現在線を走らせながらその横に構造物を構築。</p> <p>淡路駅部・千里線 柴島駅付近・他</p>	<p>仮線を敷設して生まれた空間(現在線の軌道敷き等)に構造物を構築。直上施工と組合せて行う場合も有。</p> <p>京都線 梅田方 千里線 神崎川付近・他</p>
<p>① 現況</p> 	<p>① 現況</p> 	<p>① 現況</p> 
<p>② 既設線を使用しながら高架橋を構築</p> 	<p>② 既設線横に高架橋を構築</p> 	<p>② 仮線を構築</p> 
<p>③ 既設線を高架橋に切替え</p> 	<p>③ 高架橋に切替</p> 	<p>③ 既設線を仮線に切替え</p> 
<p>④ 既設線を撤去</p> 	<p>④ 既設線を撤去</p> 	<p>④ 既設線跡地に高架橋を構築</p> 
		<p>⑤ 仮線を高架橋に切替え</p> 